

# 方向器

20年12月11日  
通算1034号

全日本建設交運一般労働組合  
神田支部

〒101-0061千代田区神田三崎町3-2-4  
電話 03-6674-2129  
ファックス 03-6674-2986  
メール kumiai@kanda-web.co.jp

## 21春闘スタート 中央春闘討論集会開

11月21日(土) 伊豆長岡のホテルサンバレー富士見にて建設労中央本部主催の春闘討論集会が開催されました。19都道府県から62名の参加と29名のリモート参加があり、神田支部から上村委員長、石塚書記長、小城常任が参加しました。冒頭、角田中央執行委員長から挨拶があり、コロナ禍でもあきらめない組合活動の在り方、さまざまな支部、分会での活動について共有する大切さについて提言がありました。次に、広瀬中央本部書記長から新型コロナウイルス感染防止対策と同一労働同一賃金についての要求基準を盛り込んだ21春闘建交労中央統一要求基準(案)が提案されました。その後、全労連の黒沢事務局長に、21国民春闘方針(第一次案)について講義いただきました。実質



賃金が長期で低迷している日本の現実や、長引くコロナ禍のもとで雇用悪化、賃金引下げなど厳しい状況である職場の実例を紹介していただきました。「コロナだから仕方ない」とする諦めを排し、今だからこそ、労働組合が元気にたたかう意思統一が必要であると提起されました。休憩後、各部会や本部の代表者より特別報告があり、その中で神田支部の上村委員長が首都圏集交団の団長として、首都圏集交団の歴史や20年春闘、年末一時金交渉など活動報告がありました。その後、全体討論としてリモート参加者を含む各支部から11名の活動報告がありました。休会後の夜には全国の仲間と交流会を開き、親睦を深めました。2日目は、引き続き全体討論が行われ、11名から発言がありました。最後に、長から2日間の総括があり、閉会の挨拶と森谷副委員長による団結ガンバローを行いました。【小城常任】

### 全国トラック 部会総会

11月22日(日)全国トラック部会第22回総会が開催され、全体からは、5名参加しました。冒頭、足立部会長から一時金データベースに報告をしていない支部や部会が多く現在のコロナ禍において労働組合の活動が見えない現状について、SNSや投稿などで活発に中央本部に報告をあげて欲しいとの要請がありました。また、あらたなトラック政策の早期の確立と全国トラック部会が建交労をけん引していくため、その存在を示す年としたとの力強いあいさつがありました。その後、



鈴木事務局長から20年度の経過報告と21年度の活動方針(案)が提案され、次に中島副部会長より20年度会計報告と21年予算編成案の提案がありました。昼食後の全体討論では、18名からの発言があり、各支部や部会の争議の進捗や組織拡大についての取り組みについて報告がありました。神田支部からは、上村委員長からは首都圏集交団の取り組みについて、石塚書記長から20春闘での制度要求の前進と年末一時金交渉の報告の発言がありました。出席者からの発言を受け、鈴木事務局長からの回答とまとめがあり、早期の部会1万人の回復に向けての組織拡大と春闘要求アンケートへの集約要請がありました。最後の議案で、21年度役員体制の提案があり、副部会長中島さんが退任され、上村委員長が副部会長として新任されました。その後すべての議案が満場一致で採択されました。最後に津村副部会長の閉会のあいさつがあり、足立部会長が「トラック運輸産業の変化の今を活かし、経済闘争の強化・強大な組織建設に奮闘しよう」のスローガンの下、団結ガンバローで締めくくり、総会が終了しました。【小城常任】

### 一言要求アンケート取り組みを!

21春闘に向けて、全組合員の声を要求に反映させる大切なものです。神田支部では春闘アンケートと共に重要に取り組みです。各分会・班では確認の上、徹底して下さい。  
**神田支部調査部**

### コアテクノ・レキスト問題

コアテクノとレキストとの売上付替問題及びレキスト元役員の仕事上横領事件についての制裁処分(11/1/12付、12/1付、詳細はガールーン掲示板参照)が発覚されました。神田支部は制裁処分の内容が重要ではなく、今後のカンダグループ全体での対策の立案・実施が最重要であることを表明します。また、労働組合として『経営のチェック機能としての役割』を十分發揮してまいります。【上村委員長】

手から手へ仲間といっしょに読もう